

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 連絡協議会」での口頭要請事項

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

- 1 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。
また、米軍帰還に際しても、土曜日・日曜日及び早朝・深夜に飛行することのないよう配慮すること。
- 2 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。
- 3 米軍人の外出時等の対応など本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。
- 4 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。
- 5 訓練の安全管理及び参加する戦闘機の整備・点検など安全確保に万全を期すこと。
- 6 説明会や米軍ブリーフィング及び戦闘機見学会の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。
- 7 訓練終了後の「検証」は必ず行うこと。

●苫小牧市の個別要望

- 1 戦闘機やヘリコプター等の事故が頻発していることから、機体点検等を徹底し、安全確保に努めるとともに、事故の原因及び今後の対策について速やかに情報提供を行うこと。（特に、直近の米軍機事案であり、航空機訓練移転元の一つでもある三沢基地所属F-16の燃料タンク投棄について）
- 2 これまで実施された訓練移転によって、沖縄の負担がどの程度軽減されたのか、目に見える形で検証すること。